



令和5年度

瀬谷小だより

6月号



令和5年5月25日

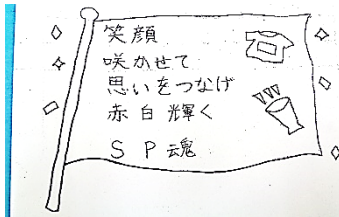
横浜市立瀬谷小学校

学校ホームページ <https://www.educity.yokohama.lg.jp/school/es/seya/>

笑顔咲かせて 思いをつなげ

赤白輝く SP魂

校長 藤田 陽子



日ごとに強まる日差しの中、今週末に迫るセヤリンピックに向け、それぞれの目標を確かめる最後の準備が進められています。

瀬谷小学校に着任してから約2か月間、驚いたり心を動かされたりする場面や内容に私はいくつも出会いました。その一つが、セヤリンピックのバディ演技です。

私が経験してきた運動会の表現運動は、運動のめあてや学年目標に向かい表現の仕方を模索しながら動きを高め、学年としてのまとまりをつくることを大切にしてきました。ところが本校では、このような目標に加え、特に年上学年において「バディ学年にとって自分たちの表現がどのように見えるか」を互いに確認し検討していたのです。また、バディ学年一緒の学習では「どうしたら、表したい感じになるかいっしょに考える」「言葉でその方法を伝える」「納得できるまでいっしょに体を動かす」「相手のよさを見つけて伝える」などの活動を行っていました。これらのプロセスを通じ『異なる学年が同じ表現運動に取り組みながら、それぞれの学年の力を伸ばし高め合う』ことを目指していました。



今年度のバディ活動はスタートしたばかりですが、運動会という大きな舞台で異なる学年同士がどのような表現をし合うのか、とても楽しみです。当日までのかかわりを想像しながら参観者の皆様にご覧いただけることが児童の喜びになると思います。

表現運動に加え、休み時間に練習を重ねた応援団やリレーの練習、開閉会式の進行にかかわる役目の準備、そして5・6年生によるセヤリンピック委員会活動など、多くの準備を児童は重ねてきました。

当日、児童のこれまでの準備や努力を動きや行動として精一杯発揮し、一人ひとりが輝くセヤリンピックとなるよう職員一同、全力で支援してまいります。